

令和4年度きのくにコミュニティスクールの推進に係る研修会 【紀北会場・紀南会場】 まとめ

日 時 : 紀北会場 令和4年9月5日(月) 13:30~16:00

紀南会場 令和4年9月6日(火) 10:30~13:00

開催方法 : ハイブリッド開催 (zoom)

参加者 : 紀北会場 55名 (対面42名・オンライン13名)

紀南会場 37名 (対面16名・オンライン21名)

テーマ : 「学校運営協議会の可能性 ~地域の想いが子供を育てる~」

事例発表「つながる! 広がる! ネットワーク」

紀美野町立美里中学校区 学校運営協議会会長 松本 守信 氏

○総合防災訓練でつながる!

「防災訓練を始めたきっかけ」

- ・ 小学校を卒業してから、美里中学校へ入学する生徒が激減する事態が発生
- ・ 美里中学校は地域にとって必要な存在なのかどうかを問い直したい
- ・ 学校と地域の関わりを強くしたいという思い



どうにかしないと!

防災という観点が最もふさわしい

とにかくやってみたところ・・・

「意義を確信」

中学生が保育園児を避難誘導



中学生が学校や家では見せることがない、とても暖かく優しい表情を見せた!

☆ **違う立場が連携することにより、子供は驚くほど成長する!**

これだ!

○総合防災訓練で**広がる**！

転機となった「はばたく紀の国」の取材
・防災訓練の取組をPTA指導者研修会で発表
↓
発表を聞いた県教育委員会から「はばたく紀の国」の取材依頼

取材後

地域の方の参加も増えた！新たな協働団体とつながり、そのつながりが広がった！



○それぞれの課題

- 地域** … 役職などのない、本当の意味での地域住民の参加はまだまだ低調である
- 学校** … 学校運営協議会として、校長先生、教頭先生は前向きにであるが、他の先生方は必ずしも良く思っているとは限らないと感じている
- 団体** … 協力頂いている各団体も、役員、担当者が交代すると、同じスタンスで協力して頂けるか、継続性には不安が残る

○美里地区の学校運営協議会

- ☆**学校運営協議会とは**…学校の**応援団**（手柄は学校に）
- ☆**その役割は**…外部と学校を**つなぐ**、外部から学校を**まもる**（リスクは地域に）
- ☆**替わっていく**学校（子供・先生）に対し、**替わらない**立ち位置で応援する

講演・熟議

「成功のカギは熟議！

～対話する学校運営協議会～

文部科学省総合教育政策局CSマイスター

特定非営利活動法人

みらいずworks 代表理事 小見 まいこ 氏



○コミュニティ・スクールとは

- ・地域も参画して、子供たちをみんなで育む仕組み
- ・地域学校協働活動との一体的推進（地域と学校をつなぐコーディネーター）

目指すのは

子供を取り巻く、学校・家庭・地域の課題を共に解決する

○熟議

- ・「熟議」とは、よりよい集団（学校）生活や人間関係を築くために、「協働して取り組む一連の自主的、実践的な活動」を「話し合い」を重ねながら生み出そうというもの

熟議が成功のカギとなる理由

①お互いの違いや共通点を理解する

- ・学校と地域の「違い」を前提とし、お互いの共通の目的を探る

②関係性の質を高める

- ・関係の質 → 思考の質 → 行動の質 → 結果の質

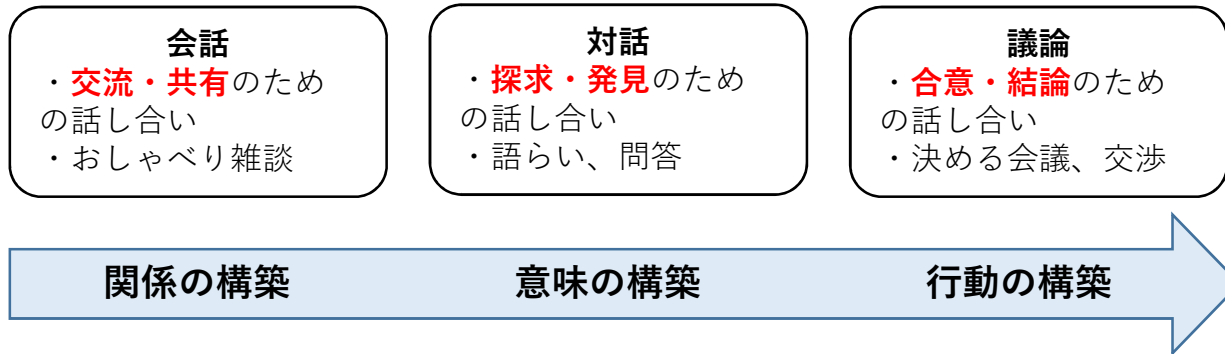
③学びの土壌を育む

- ・大人のあり方 → 学びの土壌・環境 → 生徒の資質・能力

コミュニティというのは、宣言したときから存在しているといったものではなく、充実したコミュニケーションを積み重ねながら、気がついてみると、コミュニティになっていたというのが本当のコミュニティだ。人々の単なる集まりが「熟議」を通して真のコミュニティになっているといっても過言ではない。

引用：鈴木寛「熟議のススメ」講談社

○話し合いの3つのモード



○熟議のポイント

- ① **みんなが意見を言いやすい工夫**
授業・会議の企画と同じ
- ② **見える化**
話が積み重なっていくので生産性・創造性UP
- ③ **拡大熟議でいろんな人を巻き込む**
子供・地域・保護者、そして教員も

○熟議をやりっぱなしにしない！協働活動につなげるには

OK → **Let's**
それでいいよ 一緒にやろう

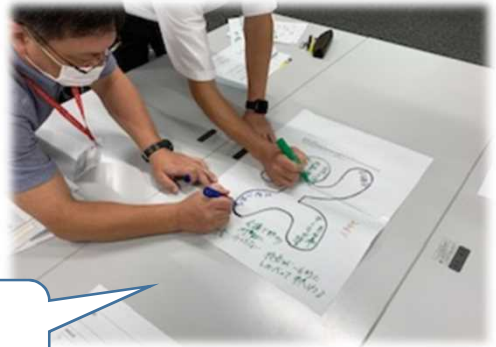
効果が大きくすぐにできることから始めよう！



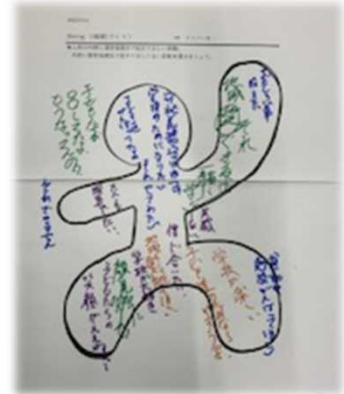
模擬学校運営協議会の様子

小見まいこ みらいずworks ニックネーム まいちゃん	①わが町のおすすめスポット
②小中学生のときに好きだったこと	③うちのCSの天気は…

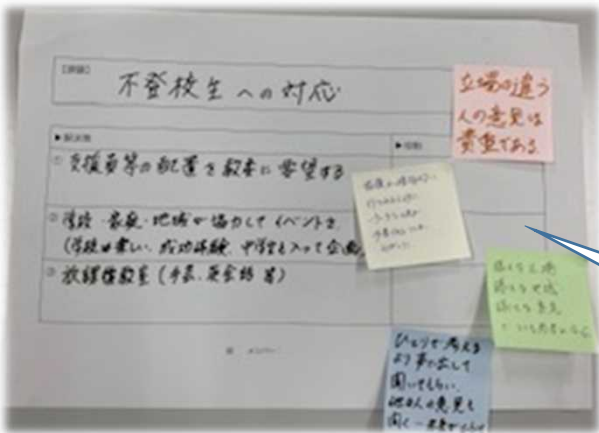
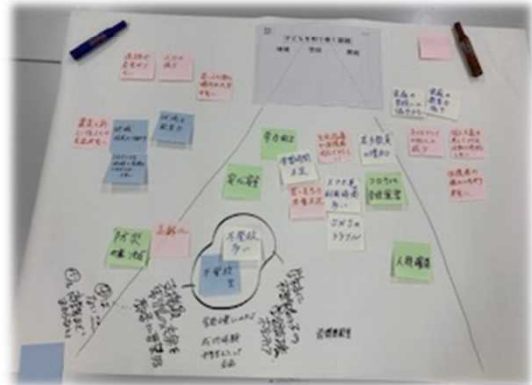
自己紹介でアイスブレイク



Being (規範づくり)
人型の内側に学校運営協議会で起きてほしい言動
外側には起きてほしくない言動を書きましょう



子供を取り巻く課題を出し合おう

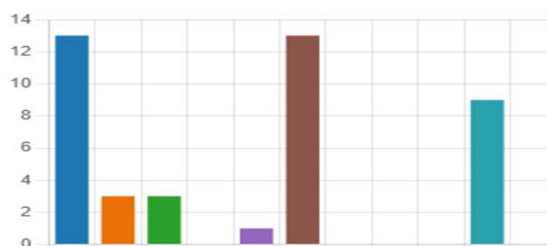


「収束カード」に解決方法と役割分担をまとめていこう

きのくにコミュニティスクールの推進に係る研修会（紀北会場）

1 役職、担当等について

● 学校運営協議会委員	13
● 共育コミュニティ関係者	3
● 公民館職員	3
● 家庭教育支援員	0
● P T A 関係者	1
● 教育委員会職員	13
● 学校図書ボランティア	0
● 読み聞かせボランティア	0
● 総合型地域スポーツクラブ関係者	0
● 学校の管理職又は教職員	9
● その他	0



2-① 学校運営協議会制度について、理解できた。

● 大いにそう思う	23
● おおむねそう思う	17
● あまり思わない	2
● 思わない	0



2-② コミュニティ・スクールを充実させるための重要なポイントが理解できた。

● 大いにそう思う	23
● おおむねそう思う	19
● あまり思わない	0
● 思わない	0



2-③ 講演会を聞いて、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動を一層推進していこうと思う。

● 大いにそう思う	28
● おおむねそう思う	14
● あまり思わない	0
● 思わない	0



3 ご意見・ご感想

事例発表について

- ・松本会長がリーダーシップを発揮された防災訓練。やればここまで広がるのだと驚きました。
- ・具体的にていねいに勉強させていただきました。
- ・素晴らしい取組でした。
- ・とても参考になりました。
- ・地域としてできたこと、取り組んだことの完成型の発表。立ち上げ期の苦労みたいな話も聞きたかったです。
- ・積み重ねの大切さを改めて思いました。毎日の活動をコツコツ続けていきたいと思えます。
- ・防災の取組、多くの団体を巻き込んでいるのがすごかったです。
- ・中学生と小さな子との関わりは職業体験だけではもったいないのだと思いました。
- ・松本さんの発表から、地域側に熱い思いを持つ人に、いかに入ってきてもらうか。また、学校運営協議会で協議したことを学校運営協議会だけで解決せず、町長部局や企業や各種関係団体を巻き込んでいくことが大事のように思いました。残念ながら当地域では、まだまだその辺の発想が乏しく、教委として助言、支援をしていく必要があると思えます。
- ・様々な取組が紹介されていて、経験と蓄積のたまものであると感じました。
- ・経過や思いを交えながら事例紹介していただき大変参考になりました。
- ・地元の中学校での実践について伺えて大変よかったです。
- ・松本様の経験・体験から大切なポイントがよくわかりました。
- ・意図せずとも必要に迫られ、どんどん広がってつながっていくことがよくわかりました。また、つながり、広がることで、さらに深い学習になっていくことがわかりました。
- ・私の住んでいる地域も防災には力を入れているので、今日の資料を代表自治会長に見てもらいます。
- ・何をすることも苦労はつきもの、続けることに意味がある。まず、やり始めることが大切だと改めて感じました。
- ・地域の問題を探し、学校、地域等に協力を求めて、地域全体で理解できるようになったよい事例でした。
- ・もう少し詳しく聞く時間が欲しかったです。
- ・会長さんの熱い想いが素敵でした。
- ・行政のみならず企業も巻き込む、まさに協働だと思えました。もう少しゆっくりに聞きたかったです。
- ・他の学校の取組を知る事ができ、勉強になりました。
- ・なかなか他市町村等の事例について知る機会がないのでよかったです。
- ・各場所での取組を知るいい機会になりました。

- ・美里中学校に適した活動を、信念をもって進められておられることがよくわかりました。
- ・どこの学校運営協議会でも話題になる「防災」だが、これほど実践をされている学校は多くない。子どもが通学路や遊んでいるときに、どう対応するかまで学校運営協議会で話すことができれば良いと感じたが、どのように熟議に持っていけばよいのか難しい。
- ・大変分かりやすかったです。お人柄でしょうか、スーッと心に入ってきました。自分の場合を想定していろんなアイデアが浮かんできました。
- ・色々な事例を聞かせて頂く度に、推進力はその時担当された『人の熱意』がその成功を左右するのだなと思いました。
- ・地域組織と学校が連携して非常に意義がある取組だと感じた。
- ・素晴らしい事例報告でした。
- ・松本氏のお話はとても興味深く聞かせていただきました。私は学校関係者なので、児童生徒が活動に関わっている様子をもっと知りたいと思いました。また、総合防災訓練についても、もっと詳しく教えていただきたいと思いました。
- ・あり方は一様ではなく、地域・学校の実情にあわせた様々な形があり、様々なに実行して行けばいいと改めて思いました。ありがとうございます。

講演・熟議について

- ・面白い取組でした。
- ・2時間があっという間に過ぎました。
- ・他の学校運営協議会の様子がわかりよかった。
- ・よく理解できました。グループワーク、ワールドカフェも楽しかったです。
- ・ゆっくりと話し合いができればよかったです。
- ・熟議については、当協議会でも取り組みたいです。
- ・熟議の3つのポイントを導入していきたいです。
- ・新しい取り組み方の勉強ができ、大変楽しい時間となりました。少しずつ実現化していきたいと思います。
- ・グループで話す中で、楽しく他の町の意見が聞けた。
- ・普段違う地域に住んでいても、課題は同じものが多いと知れた。
- ・熟議は大事というのは十分承知しています。ただ、どんな視点で熟議していくか、各学校運営協議会が成熟してこそその熟議であり、当地域でも、学校側、地域側双方の研修がまだ不足しており、今後深めていく必要があると思います。
- ・活発な意見交換ができました。また、様々な視点から多様な意見が出て時間がアツという間に過ぎました。
- ・グループ内で様々な意見を聞かせていただくことができました。グループ内で熟議ができたのは、導入でリラックスできる雰囲気を作ってくれたおかげで、実際に使えると感じました。
- ・「見える化」の大切さを感じました。言葉だけでは深まりや発展が難しく、せ

っかく良い意見が出されても流れていってしまうので、会の進め方の改善を提案していきたいです。

- ・熟議を体験することができて、大変参考になりました。
- ・他市町の様々な立場の方とコミュニケーションすることができたので大変良かったです。
- ・いろいろな地域の方と熟議ができ、いろいろな考えを聞くことができ、有意義でした。また、活発に学校運営協議会で考えを出してもらえる手立ても教えてもらったので、第2回から活用し、活発な会議にしたいです。
- ・今までの講演スタイルとは全く違い時間を忘れるくらいでした。グループの方々ともいろいろ話が弾みました。
- ・もう少し聞かせてほしかったです。
- ・初めてまとまりのある熟議になったように思いました。「これならやれる。」という自信ができました。
- ・コミュニティ・スクールの取組方法が理解でき、よかったです。
- ・面白い取組でした。
- ・良質な大人の関係性。何となく私が不安に、課題に感じていたことをはっきりとした言葉で説明してもらいました。
- ・実際に模擬の協議会を体験し、意見を出したり、まとめたりすることの難しさを知りました。
- ・とても良かったです。
- ・オンライン参加でしたが、話し合いの時間はもう少し多めにあると嬉しかったです。(つながってない方もいたため)
- ・自治体職員なので、なかなか現場のことがわからず少し難しかったです。
- ・面白い体験でした。
- ・他の地域の方々と意見交流ができてよかったです。地元でも取り組みたいと思いました。
- ・研修会の前に、「私たちのコミュニティ・スクールの作り方」をダウンロードし、予習をして臨みました。熟議の具体的な進め方など、とても参考になる部分が多かったです。しかし、実際の学校運営協議会では口の字、コの字の形が多く、見える化も少ない現状だと感じました。「子供達のために」というキーワードを使って、「生産性のない形」からの脱却を目指したいです。
- ・最初に小見氏がおっしゃったように、あっという間の2時間でした。事例発表と同じく、いろいろアイデアが思い浮かぶよい内容でした。
- ・熟議では論点が上手く絞れず、時間不足となった。別に、オンラインの音声が聞き取りにくく、事前にテストし、機器の操作確認が必要なのではないかと思いました。以前も聞き取りにくかったです。
- ・他の方と話せる機会があつてよかった。
- ・「議論」になると、冷静になれない参加者もあり少し困ることもありました。
- ・小見氏のお話は大変わかりやすく、ワークショップ形式で、実際考えながら

り組めたのがよかったです。ただ、内容が盛りだくさんで時間が足りなかったように思います。またぜひお話を伺いたいです。

・「熟議」という言葉は素敵ですね。また改めてアイスブレイクの必要性を感じました。元気が出るご講演をありがとうございました。

全体を通して

・小見先生の熟議がよかったです。時間が少なかったので、ゆっくりと半日程度やりたいです。

・模擬学校運営協議会でいい感じの話し合いができました。コミスク研修へは何回か出席していますが、模擬学校運営協議会は初めてでした。よかったです。

・課題が多すぎて難しかったです。

・今後コミュニティ・スクールを積極的に推進し、地域全体で取り組みたいです。

・ハイブリッドでよかったのですが、先生が話しているのに運営の声も聞こえて少し集中がそられ、残念でした。

・このような研修会がこれからも開催してほしいです。

・ハイブリッド運営、大変だったと思います。ありがとうございました。

・グループディスカッションが勉強になりました。

・講師先生の話は普通に音声を聞き取れましたが、司会の音声はなかなか聞き取りにくかったため、音量を大きめに拾ってもらえると嬉しいです。

・オンラインは初めてで少し戸惑いました。

・このような研修会を進めればと思います。

・コミュニティ・スクール意義を管理職だけでなく、全職員の理解を深める工夫が必要だと思います。

・ハイブリッド型の研修会運営ありがとうございました。現地に行けなくても、オンラインで熟議ができるのは、素晴らしいことだと感じました。もし可能であれば、オンライン先にどれほどの人がいたのか気になったので、そこも見える化できれば、仲間意識がより高まったかもと感じました。

・教育委員会と現場の先生(校長ではなく)との意見交換(熟議)が必要なのではと感じました。

・超少子化超高齢化の時代に、和歌山県内も学校の統廃合が進む事で、コミュニティ・スクールの役割も変化すると思われるので、そのような場合の研修も折り込んで欲しいです。

・ご準備や運営、ありがとうございました。

・コロナ禍で大変な中での実施ありがとうございました。遠方からの講師先生もお越しただけでよかったです。コミュニティ・スクールは学校の応援団だと心強く思って、今後とも一緒に考え、活動していきたいと思います。